

見本園の草刈りをボランティアさんと実施しました！

9月26日に公募で集まった5名のボランティアさんと一緒に、森と水の源流館が白屋地区で管理している「見本園」の草刈り作業を実施しました。川上村が進めている未来への風景づくりは企業・団体さまにご協力いただいて実施していますが、今回は一般の皆さんに向けて白屋の未来への風景づくりを知っていただく機会となりました。午前中に草刈りを実施し、午後からは自然観察と外来種の駆除を行いました。今年、2015年を最後に見かけなくなっていたナルトサワギク（特定外来生物）が再び確認され、駆除しました。また、アメリカオニアザミも小さなロゼットを中心に駆除を進めました。

元住民の方も参加されて、大滝ダム建設による地滑りで全戸移転となる前の白屋地区の様子を聞かせていただきました。みなさんで大変楽しいひと時を過ごさせていただきました。

<未来への風景づくり見本園草刈り体験ボランティア9/26>



草刈りや外来種駆除をがんばりました。

観察した植物

<ウツギの狂い咲き>



ウツギの花（卵の花）



ウツギの実

ウツギは5-7月に咲く落葉低木です。ウツギの花は卵の花とも呼ばれます。万葉集には24首が読まれており、そのほとんどがホトトギスとセットになっています。そんなウツギの花が、9月26日に咲いていました。今年の北半球は史上最高に暑い夏！

（アメリカ海洋大気局発表）だったとのことで、異常気象が原因かもしれません。同じ木にはちゃんと実もできていました。白屋では、この実を川に浸けて、気絶した魚を採っていたとのこと。昔の生活では、いろいろな生き物を上手に利用していたことがわかります。



ゲンショウコ

腹痛の薬「陀羅尼助」の原料です。白屋では赤花と白花の両方が咲いていました。



ヒガンバナ

田んぼの畔などでたくさん見られるヒガンバナも田んぼの無い川上村ではあまり見かけません。ひっそり咲いていました。



ヒオウギ

夏の花のヒオウギもまだ咲いていました。午前中に咲いて夕にはしぼむ一日花です。



ノブドウの実

ノブドウの実が青や紫に実っていました。色が付いているのは虫が入っているもので、入っていないものは白色です。

<ナラ 枯れ 現象 が 発 生>

未来への風景づくりの谷をはさんで対岸の森で「ナラ枯れ現象」とみられる枯死木が発生しているのを確認しました。原因はカシノナガキクイムシが菌類を運ぶことによるものです。全国的には2000年頃から増加し、2010年頃がピークで減少傾向にあります。増加の原因は、50年生以上のナラ類やカシ類に被害が多いことから、里山管理の衰退によるもの、温暖化などの気候変動によるものなどの説がありますが、特定されていません。

